

数学

| | |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 数学科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて | |
| ア 知識及び技能 | イ 思考力、判断力、表現力等 |
| 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、数学と実社会との関連についての理解を深める。 | 数量や図形の性質を見出し発展的に考察し、数学的な表現を用いて事象を簡潔、明瞭、的確に表現する力を身に付ける。 |

| 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（2月） |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------|
| 第1学年 ・九九を正確に言えない生徒が若干名いる。ア ・単位の概念が確立できていない（少数）ア ・正負の数の加減乗除の計算の仕方が理解不足（少数）ア ・文字式の読み取りができない生徒が多い。イ | ・授業開始後5分間ドリルに取り組む。ア ・正負の数に拡張した九九の練習と小テストを長期休業明けに行い、結果に応じて再テストを実施する。ア ・文字式を読み取り、何を表しているか考えさせる。イ | ・通年 ・9月 ・9～10月 | |
| 第2学年 ・計算力については身につけてきているが、思考力を必要とする文章題に課題がある。ア ・身の回りのことと関連付けて考え、表現する能力に課題がある。イ | ・計算力は授業の最初の5分間ドリルを継続的に取り組み、裏の文章題への取り組み少しずつ増やしていく。ア ・導入の工夫としてDコンテンツを使用し、ICTの活用として身の回りのことと関連付ける動画を見る機会を増やしていく。イ | ・定期的に小テストを行う。（通年） ・定期テストに合わせて補習を行う。（通年） | |
| 第3学年 ・計算方法を暗記してパターン化して解くのは得意であるが、解き方の根拠の把握や背景にある知識の定着が不十分である。イ ・文字式の読み取りができない生徒が多い。イ ・関数の概念形成が不十分である。ア | ・応用問題や文章題に取り組む際に、ミニプリントの問題を抜粋して扱い、基本的な知識技能の十分な定着を図る。イ ・「2次方程式の利用」で文字式を読み取り、何を表しているか考えさせる機会を設ける。イ ・「関数 $y=ax^2$ 」の単元前に、比例反比例、1次関数の復習を行う。ア | ・通年 ・9月 ・10～11月 | |

■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 1年 ロイロノート（学習支援アプリ）を活用して生徒の考えを共有し問題解決の方法を熟考する。
- 2年 生徒それぞれの解き方を、ロイロノート（学習支援アプリ）を用いて黒板に提示する。
- 3年 ロイロノート（学習支援アプリ）を活用し生徒の解き方や考えを共有する。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年 単元の始めに見通しを持たせ、単元終了時に振り返りシートを記入させる。また、授業ごとに授業のねらいに対する考察をノートに記入させる。
- 2年 単元の初めで見通しをもたせ単元ごとに振り返りシートを記入させる。
- 3年 単元の初めに見通しをもたせ、振り返りシートを活用する。

